



10・10・23(土)
南NEWS NO38

第16回はやぶさ杯少女サッカー大会

(10/3 小金井市立第二小学校)

フルメンバーの青梅新町と真剣勝負しました。期待以上の戦いができました。しかもこの試合も2年生以上15名全員を使っても、戦力ダウンせず、終始ワクワクするサッカーを見せてくれました。

<Bグループリーグ>

○南八王子2-1小金井4SC (前半2-1)

得点者 片寄優さん(2)

毎年招待をいただいているこの大会ですが、会場の小金井第二小は校庭全面が天然芝に覆われています。今年の夏は猛暑で、さぞかし管理が大変だったろうと思いましたが、大会前2週間は養生期間として使用せずに準備してくださったためか、今年も見事なピッチが迎えてくれました。



そのピッチでの初戦は開始35秒で得点が決まります。片寄安さんから西條さんへバックパスから左サイド片寄優さんへ見事なスルーパスがつながります。流れるようなパスワークからのシュートはきれいにゴールに決まりました。このまま流れに乗るかと思えば、試合前今日の課題としたコーナーキック(攻撃でも守備でも相手より速く反応してボールに触る)から失点してしまいます。どうしても一瞬ボールウォッチャーになってしまい、マイボールにできないという悪い癖がこの試合でも顔を出してしまいました。でもミスはそれくらい・・・キーパーにはじかれましたが、安井さんの強烈なシュートなどよく攻め続けました。そして片寄優さんの鋭いドリブルから得たPKを本人がきっちり決めて再びリード。

後半は結構ボールを支配されますが、FWで出場した矢久保さんや辻内さんが前からしっかりとボールを追いかけ守備に貢献してくれたので、ひやっとするピンチはありませんでした。それよりも相手ゴール前を行ったり来たりするクロスボールのほうが気になりました。誰かが体で触れば得点なんだけどね。

○南八王子0-2青梅新町 (前半0-1)

山中湖フェスティバルでは主力なしの相手に3-0で勝ちましたが、今回はフルメンバー。強豪相手にどこまでできるかを試す絶好の機会でした。トリプルボランチにして、得点源の小柄の2人に気仙さん、滝本さんの二人をマンマークとして付けて、フリーのボランチには片寄安さん。チャンスがあればカウンターを狙います。最初のチャンスは南八王子。ドリブルで左サイドを片寄優さんが攻め上がり、DFを振り切ったシュート。キーパにキャッチされますが、幸先のよいスタートが切れました。だんだんと押され気味となりますが、キーガール2人を気仙さん、滝本さんが本当に自由にさせませんでした。時々ある危ない場面もまず遅らせるというプレーのお陰で、小沢さんや西條さんなどのDF陣とのコンビネーションで挟み込んでボールを奪うというお手本のような守備ができていました。キーパがゴール前に高々と蹴られたボールの落下点をちょっと見誤ってワンバウンドさせた次の瞬間、1人のキーガールに回り込まれてヘディングで決められてしまいました。ミスとは言えない難しいボールだったので、相手を褒めるべきでしょう。

後半も前半と同じようによくやりました。滝本さんは最近守備で迷うことがありました。マークを意識し過ぎて、瞬間瞬間で変わる状況に対して、マークを捨



てでもやらなければならないことに躊躇してしまうというDFにとっては実は難しい悩みです。でもこの試合では、キーガール1人をしっかりとマークして抑え込み、されにここだという場面ではそのマークを捨てて、本当に危ないところ抑えるということができていました。

そしてすごかったのは片寄マさんと漆間里さんの2年生コンビ。この二人は大きい子が全く怖くないのでしょうか。しつこくしつこく追い回し、どんどん足を出してボールを奪い、前へ前へ行く姿勢は本当に感心します。後半も片寄優さん、漆間花さんを中心に何度かチャンスを作りますが、片寄安さんをボランチに下げたため、ちょっと攻め駒不足。得点はちょっと難しい状況でした。一方守備は前半同様二人のキーガールをまず封じ込めてよく戦いました。一瞬のゴール前の混戦から決められて追加点を与えますが、最後までよくやっただと思います。強豪であり、お手本でもある青梅新町さんを相手に、一方的に守るのでは攻撃もしかけ、相手をひやっとさせる場面も作れたこの試合を大きな自信につなげて欲しいと思います。

<3位決定戦>

○南八王子1-1はやぶさ(前半0-1) PK3-0 得点者 小川さん

この試合では今年のチームの強さを見せてもらいました。3位決定戦ではありませんが、この試合では勝ち負けよりもまず全員出場での戦いを目指しました。そのため今日2得点の片寄優さんをベンチスタートさせ、小さい子から先発させます。前半ちょっとしたお見合いからボール奪われてドリブルで突破され簡単に失点してしまいますが、それ以外は南八のペース。片寄マさんや漆間里さんの疲れを知らない動きで前からプレスがかかり、ボールポジションが上がりました。時々攻められても西條さんの的確な守備と指示、またキーパー伊藤さんの堅守でしっかりとゴールを守ります。

後半、片寄優さんを投入すると波状攻撃が始まります。片寄安さんから漆間花さん(右サイド)、片寄優さん(左サイド)へパスがつながり、サイドからの攻撃が冴え渡ります。そして今日のクライマックスが訪れます。今日はコーナーキックからの守備・攻撃を課題としていました。前日の練習でも、怖がらないでしっかりと頭に当てる練習をこれでもかやっていましたが、その成果を見せ始めていたのが漆間花さん。前の試合でも片寄安さんからの速いコーナーキックに唯一1人だけ頭で合わせることができていました。そして再び片寄安さんからの鋭いコーナーキックがドンピシャリで漆間花さんの頭に当たり、矢のようなシュートがゴールへ・・・。かろうじてキーパにカットされましたが、目の覚めるようなヘディングシュートでした。そして再びコーナーキック。ペナルティキックマーク辺りに飛んだライナー気味のボールに、今度合わせたのは小川さん。難しいボールでしたが、振り抜いた右足で見事なボレーシュート。入部3ヶ月で、初めて取った得点は素晴らしいシュートでした。流れは南八王子へ・・・と思いましたが、ちょっと疲れたかな。少し運動量が落ちてプレーの精度が落ちていきました。何度か攻め込まれますが、キーパー山田さんがしっかりとゴールを死守してくれました。そして試合終了。久しぶりのPK戦となりました。みんな豪快で素晴らしいシュートでしたし相手PKを3本止めた片寄安さんのキーパも見事でした。

帰る時に、はやぶささんの少女監督に挨拶をしました。小さい子の積極的なプレーをととても褒めてくださいました。そして7番(片寄優さん)の話題になりました。前半はなぜ出さなかったのかと質問を受けましたので、その理由をお答えすると、「前半から出ていれば、うちはPK戦にならずにやられていました、良い選手を育てていますね」とお言葉もいただきました。みんなのGAMBARIにコーチもとてもよい気分になりました。 by 飛田コーチ